

新型コロナウイルス感染拡大予防に配慮した利用再開について

(1) 基本方針

- 感染拡大防止策を徹底します。人との接触を極力避け、対人距離を十分確保することを目指します。
- 拡大防止のための利用者の制限を実施いたします。
 - ・施設内各室の着席数の制限
 - ・当面の間団体利用の制限（屋外活動及び各室内定員内の活動であれば団体の利用可）
 - ・木工工芸センターの時間制の導入
- 感染の疑いのある者が発生した場合の速やかな連携が図れるよう、所轄の保健所との連絡体制を整えます。
- ホームページ等において、感染が発生した場合に利用者へ感染発生状況等を情報提供します。

(2) 利用者の安全を確保する取り組み

- 利用者の体調確認を実施し、次の場合は、入館をお断りいたします。
 - ・検温（37.5℃以上もしくは平熱より1℃以上高い場合）
 - ・息苦しさ（呼吸困難）・強いだるさ（倦怠感）や、軽度であっても咳・咽頭痛などの体調の悪い症状がある場合
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合
- 来館者カードへの情報提供
 - ・利用者の氏名、住所、連絡先、体温を提出いただきます。
 - ・必要に応じて、所管の保健所等に来館者カードの情報を提供いたします。
- マスク等の着用
 - ・室内施設を利用する場合は、マスクを着用願います。
 - ・施設職員も、必要に応じマスク等を着用し対応いたします。

※熱中症のリスクが高い場合には、適宜マスクを外していただきます。
- 消毒、除菌、換気を定期的の実施いたします。
 - ・手に触れる箇所の消毒、除菌や室内の喚起を定期的の実施いたします。
 - ・手洗い場所に、石鹸・除菌ハンドソープを設置いたします。
 - ・室内施設のエントランスに消毒用アルコールを設置いたします。

(3) 各施設の利用方法

- 園内散策：団体でのご利用は可能ですが、ソーシャルディスタンスを確保してご利用ください。
- 森林館展示室：最大入室人数を20名までとし、当面の間、展示物には触れることができません。
- 森林館研修室、ふれあいセンター研修室：事前予約制とし、最大入室人数は、ソーシャルディスタンスを保持できる人数とします。
 - ・森林館研修室：20名
 - ・ふれあいセンター研修室：10名

- ・ふれあいセンター多目的ホール：15名

○ 木工工芸センター

- ・完全入れ替え制（1クール最大50分）最終回：15時入室

※午前（9時、10時、11時）午後（13時、14時、15時）の6クール

- ・入室制限（最大3組/1クール）※1組5名まで

○利用がない場合の時間途中からの受入れは、臨機応変に対応いたします。

※息を吹きかける糸のこ盤等を使用する品目は、当面の間、メニューから除外されます。

（4）自主事業

- ・イベントは、医療のひっ迫状況及び感染状況を把握しながら、開催いたします。
- ・イベント参加者の方には、事前の健康チェックが必要となります。
- ・イベントに関わる講師、ボランティアの方にも事前の健康チェックを行います。

引き続き（当面の間→削除）、利用者の皆様には、ご不便をおかけしますが、ご理解いただけますようお願いいたします。

神奈川県立 21 世紀の森（指定管理者：株式会社アグサ）